

山野流着装 初伝・中伝の部 (山野流着装資格取得者)

競技要綱

競技の前準備

- 1 帯は、てさをきを上にして屏風だたみにし、必要な小物類を準備する。
- 2 足袋をはき、ランジェリーを着用、キャミソールをはおった状態(整えてはいけない)で待機する。

競技方法

- 1 監視委員の指示の下、控室にて補正から長襦袢までの着付けを30分間で行う。
- 2 アイコー枕使用者は、控室にて(30分間内)で帯結びまで仕上げる。
- 3 長襦袢までの着付け終了後、着物をはおり、衿止めをする。
- 4 着物の裾を上げて合わせ、腰紐を仮に締める。(移動のため)
- 5 競技位置で腰紐をとり、裾を下ろして準備する。
- 6 競技会場にて着付けと帯結びを15分間で行う。
- 7 帯型の末広太鼓・開き角出しに関しては、すべて競技会場にて作る。(事前に扇は作らない)

競技規定及び禁止事項 ※違反者は、減点もしくは失格となります

- 1 選手は、初伝・中伝の授業受講者、授業修了者、資格取得者に限る。尚、中伝資格取得者は初伝の部への出場を認めない。(但し、地区大会で代表選考された者とする)
- 2 使用する衣裳、下着、小物類一式、草履は各自持参のこと。

〈初伝の部〉

着物

- 小紋(腰上げなしのAYプレタを原則として使用する)
重ね半衿を使用する場合は、小紋程度の着物に相応しい半衿を用いて全体の調和を整えること。

帯

- 名古屋帯(一重太鼓)・・・お太鼓枕使用
- 〃 (角出し結び)・・・紙枕使用
- ラブリータイズ(長舟)

〈中伝の部〉

着物

- 黒留袖・色留袖・・・白半衿・重ね半衿(比翼に半紙使用可)
- 振袖・色無地・訪問着・付下げ・・・伊達衿・重ね半衿の使用可

帯

- 袋帯(二枚扇・花立矢・カトレア・二重太鼓)・・・アイコー枕使用
- 〃 (末広太鼓・開き角出し)・・・お太鼓枕使用・隠し帯締めの使用可

- ・下着・・・山野流キャミソール及びランジェリーに限る。
 - ・小物類・紐(モスリン可)・仮紐・衿留め・伊達じめ(セット及び単品)は山野流商品を使用すること。
 - ・おはしよりに半紙及びパネロンを使用する。
- 3 選手同士での用具の貸し借りはしないこと。また、用具等の忘れ物があっても大会本部から貸し出しは一切しない。
 - 4 半衿は山野式3通りの用い方とし、内側の衿肩あきのみ綴じる。
 - 5 重ね半衿をつける場合は、安全ピン・糸・針の使用可。
 - 6 必要以上に完成された補正用品及び着物ベルトの使用は不可とする。但し、ずれない程度に止めるのは可。
 - 7 帯に形付けをしたり、帯や着物に糸やその他による印、固定は一切認めない。
 - 8 助手の使用は一切認められない。

当日の注意事項

- 1 当日の行動は、監視員の指示に従うこと。
- 2 競技中、選手同士又は観客と会話等してはならない。
- 3 競技中、他の選手に迷惑をかける言動をしたり、監視委員の指示に従わない場合は、退場を命じることがある。
- 4 競技終了後、選手は作品に一切触れてはならない。

※貴重品の紛失・盗難につきましては、主催者側では責任を負いかねますので、各自充分にご注意下さい。

審査事項

大会運営規則に基づき委嘱された審査委員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、審査業務を行う。

監視事項

大会運営規則に基づき委嘱された監視委員が、同規則に定められた「職務要綱」に基づき、監視業務を行う。

採点精算

大会運営規則に定められた「職務要綱」に記載する。

順位決定

順位の決定は審査委員の採点の合計点に基づき、大会委員長の裁定による。

表彰

入賞者の数については、出場選手の数に応じて大会委員長が決定する。